

安全・安心な暮らしのために・・・ さまざまな砂防施設が活躍しています

砂防堰堤のはたらき(不透過型砂防堰堤)

流れでてくる土砂を受けとめます。

砂防堰堤がないと・・・

上流で発生した土石流は、急な傾きの地形にそって、重力の力によって、一気に流れくだります。



砂防堰堤があると・・・

流れくだる土砂を受けとめます。



急な川の傾きをゆるやかにし、土砂のスピードを小さくして、川岸がけずれ、山が崩れるのをおさえます。

砂防堰堤がないと・・・

川の流れが速い上流では、その勢いで川岸が削られていき、山が崩れやすくなります。



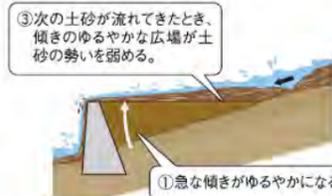
砂防堰堤があると・・・

①砂防堰堤にたまった土砂は、急な川の傾きをゆるやかにし、元の川幅よりもずっと広い広場をつくります。

②傾きがゆるやかになるので、水の勢いがやわらぎ、川岸が削られにくくなります。



③砂防堰堤が土砂でいっぱいになっていても、次にたくさんの土砂が流れでてきたとき、傾きのゆるやかな広場が勢いを弱め、土砂を散らして止めることもできます。



④次の土砂が流れきたとき、傾きのゆるやかな広場が土砂の勢いを弱める。

①急な傾きがゆるやかになる。

さまざまな砂防堰堤

流出土砂調整効果や土砂生産抑止効果のある砂防堰堤(不透過型)の他にも透過型砂防堰堤と呼ばれるものがあります。透過型砂防堰堤は、溪流の連続性を損なうことなく平常時に土砂を流下させることが可能で、土石流を捕捉または洪水時の土砂流出を調整します。透過型堰堤は不透過型に比べ、魚類など生態系への影響が少ないという特長もあります。



不透過型砂防堰堤
(本谷第10砂防堰堤) 落合川流域



網製スリット砂防堰堤
(丸山沢第1砂防堰堤) 木曾川残流域

河川の異常を発見したら連絡してください。

防災には、早期の行動が大切です。

どんな些細なことでも、日常と違う事柄を発見した場合は下記連絡先にご連絡をお願いします。

《連絡先》 中津川市落合事務所 市役所防災安全課
中津川市落合728番地の2
0573-69-3201

国土交通省多治見砂防国道事務所 砂防調査課
多治見市小田町4丁目8-6
0572-25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/index.html>

多量の土砂を捕捉し、人命、財産を守りました ～本谷第10砂防堰堤～

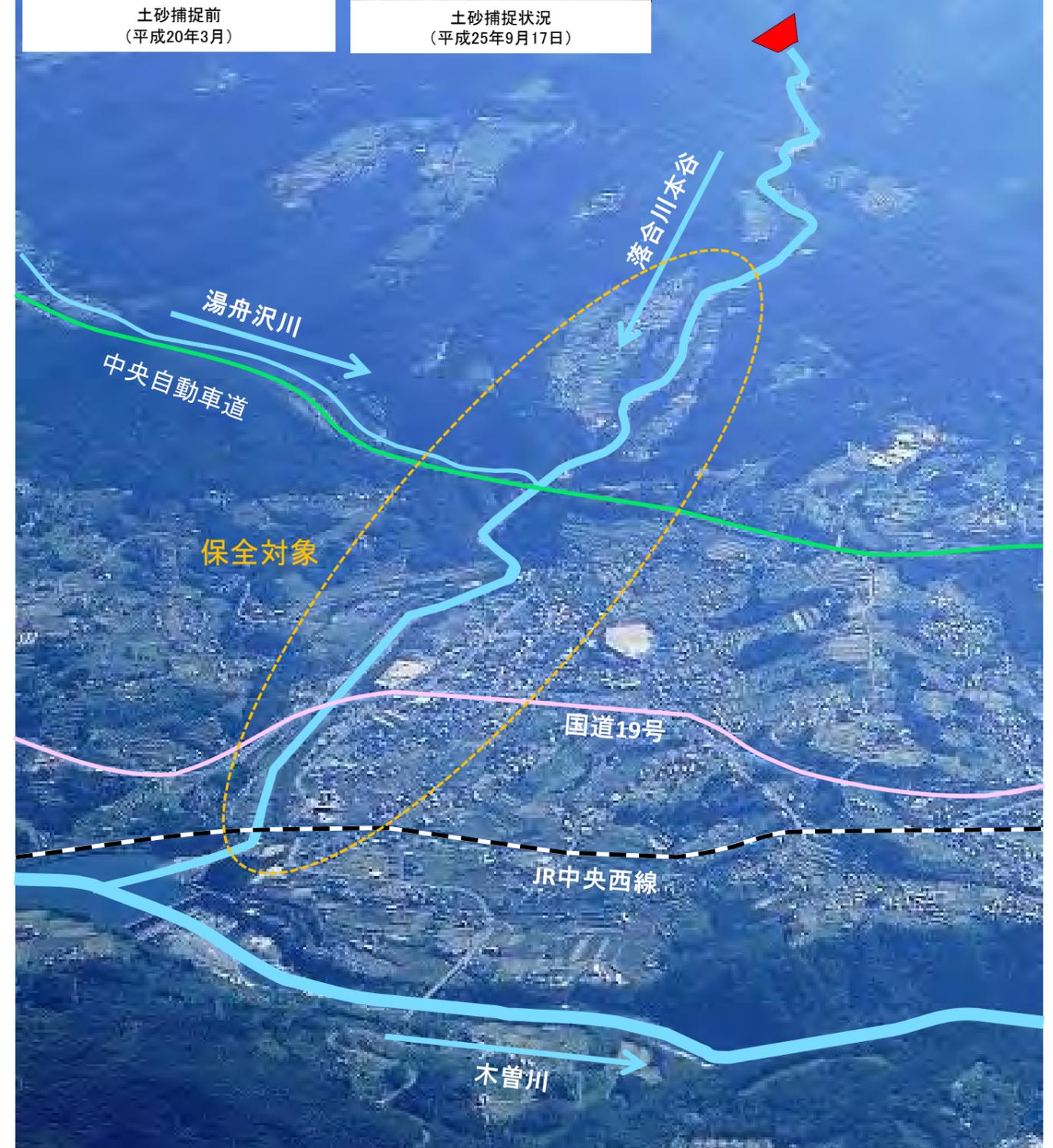


土砂捕捉前
(平成20年3月)



土砂捕捉状況
(平成25年9月17日)

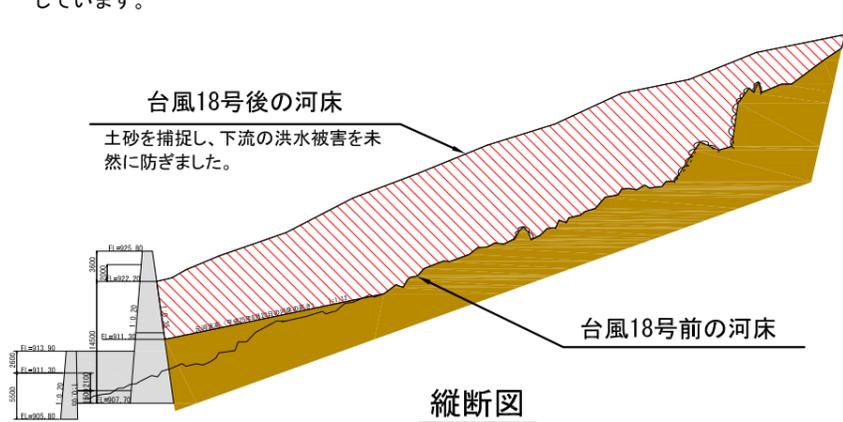
本谷第10砂防堰堤



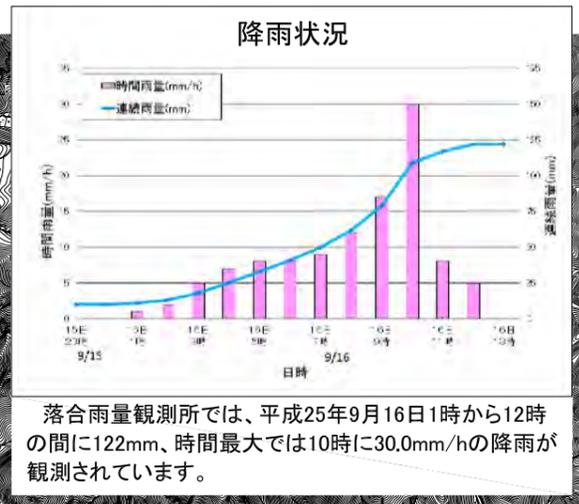
平成25年9月16日、台風18号に伴う流出土砂約59,000m³を落合川本谷第10砂防堰堤で捕捉しました。本谷第10砂防堰堤が多量の土砂を捕捉したことにより、下流河道は埋塞を免れ、人家や国道19号などに対する被害を未然に防ぎました。

本谷第10砂防堰堤の土砂の堆積状況

本谷第10砂防堰堤は平成23年3月に完成した、高さ14.5m、堤頂長53.0mのコンクリート重力式の不透過型砂防堰堤です。
今回の堆積は、台風18号で新たな山腹の崩壊によるものではなく、台風に伴う出水により上流の河床に堆積していた不安定な土砂が運ばれ本谷第10砂防堰堤に流れ着いたものと推測しています。



台風18号で本谷第10砂防堰堤に貯まった土砂



中津川市落合事務所へ市民からの通報
《日 時》 平成25年9月16日
午前10時30分頃
《通報内容》 落合川がいつになく氾濫し、大波が立っている。
《通報後の対応》
落合事務所（落合川確認(写真撮影)）⇒
市役所防災安全課 ⇒ 建設課 ⇒ 落合川確認

落合川氾濫状況
(台風18号 H25.9.16 午前11時撮影)